阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会 2003年度第7回常任幹事会議事録

#### ●口時

2004年3月27日(土) 15:00~17:00

### ●場所

阿佐ヶ谷美術専門学校 422号室

#### ●出席者

秋元圭-[会長] 西田一成 [常任幹事] 日須田修「常仟幹事] 日野 高 [副会長] 甲斐光省[副会長] 松岡和彦 浜村圭一 [常任幹事] 三浦嘉久 [常任幹事] 小山 弘「常仟幹事」 中島かおる「常任幹事] 角谷祥子 [常任幹事] 明美 [常任幹事] 大村政幸 [次期常任幹事] 益子直子 [次期常任幹事]

#### ●委仟欠席

土橋洋一(→秋元氏) 浅見 博(→西田氏) 菊池 満 渡部征明

五野勝弘 川島昭作(→西田氏)

藤原成理

向井田隆 [次期常任幹事]

高橋北斗 [次期常任幹事] (→松岡氏)

常任幹事出席者12名 委任状欠席者7名 定足数成立 (次期常任幹事の方は入れておりません)

### ●議事進行

議長・進行/小山 弘・松岡和彦 ●書記/大村政幸

# ●議題

議題1/選挙結果

議題2/ 活動計画と予算について

議題3/その他

次回日程

会議の前に小山氏から会議進行表・今年度の予算案・同窓生在校生支援委員会からの報告書・ 出納帳のコピー・選挙報告書などが配られた。

### 議題1/選挙結果

### ●経過報告

選挙管理委員長の三浦氏から「選挙管理委員の私と中島氏、西田氏、小山夫妻の合計5名で、2月11日に渋谷区民会館にて発送及び封入作業を行った。2月12日に藤原氏に手伝って頂いて、投票箱を学校内に設置し、この時点で開票日前日の3月12日を有効締め切りとした。3月13日の午後、校内の教室を借りて開票作業を行い、その後、開票日の当日到着分までを有効票としていたが当日分は無く、当初の予定通り前日到着分で締め切って開票を行った。同数票については『会長判断に委ねる』という1月の会議での承認に基づき、今回の結果となった。辞退者が1名おり、こちらも会長判断で選出して頂いた。以上の結果をもって平成16年度の選挙管理委員会としての作業は終了です」と選挙の経緯報告と当選者の報告があった。その後「(西田)立会人として、開票と結果に不正の無かった事を書類で渡した。」「(中島)当選報告は先日郵送済みで、殆ど確定となっている」

### ●辞退者と繰り上げ当選者について

事務局の小山氏より「5日前に土橋氏から辞退の申請があり会長と相談の上、承認した」とのべ、 秋元会長から「デザイン科では6票の次点の方が10名いて、高橋氏に繰上げ当選の了承を頂い た。また、中島氏が当選したが、辞退という事で勝山氏に了承を頂いた。土橋氏の件では、今日 の会議前に浜村氏に了承して頂いた」という報告がなされた。

#### ●その他

今年度の常任幹事である穴田氏の妹さんから送られてきた手紙を三浦氏が読み上げた。『兄が病気療養中の為、選任された際はお断りしたい』との内容だった。その後、選挙時に寄せられた意見として「いつもこの時期になると感じるのですが、選出する際にも何もデータが無い為に選ぶのがむずかしい、せめて顔写真・職業・幹事としての感想などの情報がほしいものです。この準備は大変だと思いますが、この辺りの在り方を考えないと、理想の同窓会も作れないのではないかという思いがします』『もう少し若い世代の常任幹事も欲しい』などが読み上げられた。最後に秋元氏から「次回の幹事用の案内には修正済みの選挙結果と決算、予算報告も同封します」と述べ、中島氏より修正済みの選挙結果データを後日、事務局宛にメールすることを確認した。

## 議題2/活動計画と予算について

### ●事務局

担当の小山氏から「基本的には前年度の予算配分と同程度にした。去年は総会&パーティ ーと事務局移転という外部に向けての処理が多かったが、今年は事務局内部の業務体制を整 理しながら、懸案の事務局員の雇用をスタートさせたい。業務内容はラベル印字・書類のまと め・封書詰めなどの簡単な仕事だが、雇用費をどう算出していいか検討したい。時給か年間契 約という形になるが、当面は私の妻(同窓会員)に携わっていてもらい、徐々に学校関係者で ある助手会の方にお願いしたいと考えている。身内を使うので不明瞭な金額を計上したくな い」と述べた。それに対し「(松岡)最終的に承認されれば問題ない。それと、「助手会」という組 織そのものは無く、この場合、阿佐美の卒業生で講師の助手全体を指す。特定の助手に頼んで しまうと学校の仕事中に同窓会でも稼ぐ形になるので、フェアにする為にどういう形がいい かは、助手全体に任せて決めてもらうという提案もある」「(甲斐)家にいても助手の方と連携 をとって同窓会の仕事が振れる人を先に決めてはどうか」「(秋元)その人材が今は事務局で、 今以上に状況を把握して仕事を振れる人がいない。仕事が少ないので常勤は難しい」「(目須田) 去年の同窓会を見ていて先が細くなっていると感じた、同窓生や在校生が、自分達の事務局 があって何かを言えば何かができそうだと思えると良い。とりあえず一度、誰かに担当して もらってから問題点はなおせばいい。たとえば、今から起業したい新卒者への援助とか何か 考えられないか?」「(秋元)同窓生の中からそれなりの対価を払い、期待以上の行動をしてく れる前線部隊みたいな活動ができないかと考えた事もあるが、人選の段階で非常に難しいこ とがわかった」「(松岡)その人は月給がもらえて幹事はボランティアとなると整合性がつか なくなる」等、同窓会の存在意義へ話がおよび、雇用費の問題からそれてしまった為、「(小山) 現在では事務局の仕事自体も定型化されておらず、今まで作成された膨大なファイルデータ ーが散乱している状態。とにかくまずこれを1年かけて整理したい」との要望を述べた後、雇 用費については小山氏の方から妥当な金額で計上することになった。

### ●選挙管理委員会

担当の中島氏は「前年度と同じような予算を計上しています」と報告。

### ●名簿連帯委員会

担当の西田氏は「名簿のリニューアルについては、学校側の担当者が換わった為に調整中です。運用は現時点では学校と同窓会で別々になる可能性があり10万くらい見ているが、何もしないで済めば0円です」と報告。

### ●会則検討委員会

担当の甲斐氏から年7回程度の会議とアンケートの実施を予定しているとの報告があり、「メンバーは学校内で連絡を取りやすい方と会長を選出させていただいた。会則自体はよくできているが、若い人が面白そうと思えない所もあるので、そこを検討していきたい。会員の権利を増やしたり、メリットがあるというよいイメージを作ってステップアップさせていきたい」との希望を述べた。

### ●WEB委員会

担当の松岡氏は「予算的には前年度と変わりありません。ただ、情報をできるだけピックアップして掲載はしているが、あまり集まらず大変です」と報告。

### ●同窓生·在校生支援委員会

担当の渡部氏が不在の為、事前に届いたメールの内容をプリントアウトして各幹事で確認し、秋元氏から「去年の同窓会ニュースはパーティーの案内と合わせた形で配布したが、今年は単独の同窓会ニュースという事になる。全同窓会会員に活動報告と決算・予算と常任幹事の報告を配布したい。藤原氏に阿佐美新聞との連携で制作・印刷・発送までお願いして、それも含めた形で渡部氏に再度予算を出してもらいたいと思っている」と述べた。

### 議題3/その他

Webの情報収集について「(甲斐)情報が集まりにくいのは、情報が広報から回ってこないという事か?」との問いに「(松岡)そうです。ただ、広報が把握しきれない情報もあり、例えば展示会の案内がきた場合、自分がダイレクトメールを見て同窓生だとわかれば、担当の方に『Webに載せます』と報告し掲載している状態です」との現状を述べた。

それに続き「(甲斐)同窓会を活性化する為に専属の人が松岡氏に情報を流すとか、例えば卒業10期から13期までの小さなパーティーを開催するなどしていけば認知のされ方も違ってくるのでは」「(秋元)広報という形でOB会のPRも含めてこまめに情報を収集する為の行動をとれるというのは理想的で、その前段階としての下準備は考えたい。ただ、クラス会を同窓会にお願いするのも全く筋が違うと思うが、今年度はなるべく開放的な活動はしたい」「(日野)総会&パーティーは四年に一回なのか、クラス会に対する支援はどうするか等、目的をクリアにするステージがないと進まないのではないか」「(秋元)そういうグループを今年の幹事の中で振り分けたい。それとは別に、同窓会名簿を少しでも新しくする為に、幹事へのクラス会の呼び掛けなども同窓会のPRになると思う」等の意見交換があった。

次に決算について秋元会長から「各委員会からの計算書を決算書にまとめますので了解して頂きたい。四月中に監査、五月に選挙結果と合わせて幹事さんに報告。決算・予算はそこで承認して頂くという手順を踏みたい」と述べた。

最後に松岡氏から現校長の菊池氏が3月31日付で退任し、新校長は現理事長の三輪氏に なるとの報告があった。

### 次回日程

5月29日(土)15:00~もしくは、次回は幹事親睦会の開催がある為、少し早めの開始になるという幹事会日時の確認と、交通費の精算をして議会は閉会した。